

第7回 江戸川区景観計画策定委員会 議事要旨

日 時：平成22年3月15日（月）

午後3時00分～午後5時30分

場 所：グリーンパレス2階 高砂・羽衣

1. 開会

- ・あいさつ

2. 素案の構成・内容について

1) 計画全般について

- ①景観計画の策定の目的や意義をより具体的に、端的に、わかりやすく、まとめると良い。
- ②計画期間や見直しの目安を明記する必要がある。
- ③区の歴史について専門家などに確認してもらおうと良い。
- ④素案の検索性を高め使い易くする工夫をしてほしい。
- ⑤樋管などの難しい用語の使用はできるだけ避け、使う場合でも注釈をつけるなど工夫が必要である。
- ⑥写真はえどがわ百景などを活用し、より良いものにしてほしい。

2) 大景観区について

- ①大景観区は事務所単位を基本とし、テーマはその地域の特色を表現した内容にしてほしい。
- ②大景観区のテーマの内容は、より区民の暮らしの目線にたった、親しみやすいものにしてほしい。
- ③大景観区のサブタイトルとして、「6つの特色のある地域別方針」とあるが、ここでは、江戸川らしさを共有するための多様な地域性を紹介することを伝える。
- ④水と緑だけでなく、江戸川区は花のまちであることもアピールしてほしい。

3) 景観軸・景観拠点について

- ①景観軸・景観拠点が重なる場合は、どの基準を適用するかその都度検討するほうが良い。
- ②景観拠点から外れている駅についてその理由を記載するほうが良い。
- ③新小岩駅（葛飾区）は本区の区民の利用が多いため大景観区などで位置づけてほしい。
- ⑤基準の内容は抽象的な言葉が多いので、具体的な表現にしたほうが良い。

4) 小景観区について

- ①本計画では区民主体の景観まちづくりである小景観区が重要なので、ページを割いてより強調させる必要がある。
- ②アダプト活動という言葉より、ボランティア活動の方がより区民にわかりやすい。

5) 景観まちづくりの推進について

- ①事業者・専門家・行政による事前協議の話し合いにより、景観を誘導していくことが重要である。
- ②計画がまとまったら周辺の自治体に周知するとともに、周辺の自治体に影響のある事業がある場合は、それぞれ連携して取り組むことが重要である。

3. 今後の進め方について

1) えどがわ百景実行委員会について

①百景の選定プロセスを通じて、景観が美しい絵となるものだけでなく、生活する様子も景観であることを共有化することができるよう、そこに区民参加をしてもらうことが重要である。

②イベントや地域まつりなど、より多くの区民にえどがわ百景を呼びかける必要がある。

2) 次回委員会について

①次回は、平成 22 年 4 月 28 日（水）15：00～開催予定とする。

4. 閉会